



復興支援ニュース

宮城県東部保健福祉事務所
(宮城県石巻保健所)

Vol.45



震災から4年が経過しました

震災後4回目の3月11日を迎え、震災の犠牲となられた方々への追悼と、復興、再生、発展を遂げていく決意を新たにすため、石巻市の河北総合センター「ビッグバン」で追悼式が開催されました。

管内の各市町でも追悼式や慰霊祭が行われ、午後2時46分に黙祷が捧げられました。

「犠牲者に対する追悼の意を表し、記憶を風化させることなく後世に伝え、東日本大震災からの復興を誓う日」として県の条例で定められた「みやぎ鎮魂の日」も今年2回目を迎えました。



【石巻市 追悼式の様子】

女川温泉「ゆぼっぼ」でリラックス♪

震災により被災し閉館となった女川温泉ゆぼっぼが、3月22日に再び開業しました。

同施設はJR女川駅と一体化した施設であり、1階に駅舎、2階に浴場、3階には展望デッキを備えています。ウミネコが羽ばたいているかのような印象的なフォルムの屋根の建物は、地域の憩いの場として、また旅の疲れを癒やす場として、今後さらに復興が進む新しい女川町のシンボルとなりそうです。

壁面を彩るのは日本画家の千住博（せんじゅひろし）さんと水戸岡鋭治（みとおかえいじ）さんをアートディレクターに、「花」をテーマに公募したイラストと、千住さんの絵を合わせた巨大なタイルアート。ゆっくり眺めながら、ゆったりお風呂につかってリラックスしませんか。



【広々とした浴場です】

お茶っこしませんか～みなし仮設住宅入居者の作品展&交流会

当所では、みやぎ心のケアセンター石巻地域センターと共催で、3月6日に石巻合同庁舎の仮設会議室で、みなし仮設入居者の作品展と交流会を行いました。作品展示や寄せ植え等の体験、お茶っこスペースでの交流など大盛況に終わりました。参加者の方からは「楽しい1日を過ごすことが出来ました。」「また参加したいです。」との嬉しい意見もいただきました。

【作品を鑑賞する参加者の皆さん】



石巻健育会病院がオープン

4月1日、石巻港湾病院が「石巻健育会病院」に改称し、石巻市大街道西3丁目に移転開設しました。

診療科目は以前と同じく内科、循環器内科、神経内科、リハビリテーション科ですが、病床が135床から155床に増えました。1階には退院後の患者を支援するリハビリ室が設けられ、旧病院より更にリハビリ用器具が充実しています。震災対策として、約1m50cm盛土しているほか、厨房を5階に設置し、災害時にも食事を提供できるよう配慮した構造になっています。

また、同敷地内には、訪問看護や訪問介護、デイサービス、宿泊サービスが一体となった看護小規模多機能型居宅介護事業所や、障害福祉サービス事業所が併設されており、高齢者及び障害者の生活をサポートします。



ご卒業おめでとうございます！

3月4日に石巻市医師会附属看護学校の、3月6日に石巻赤十字看護専門学校の卒業式が行われ、それぞれ37名、39名の卒業生の皆さんが医療の現場へと巣立っていきました。

今後、地域医療の担い手として、ご活躍されますことをお祈り申し上げます。



【卒業式の様子】

防災に配慮しました～特別養護老人ホーム「はしうら」開設

3月16日、石巻市北上町橋浦に「特別養護老人ホームはしうら」が開設されました。

特別養護老人ホームとは、在宅での生活が難しい高齢者の方に、日常生活の介護を行う施設です。定員数は100人です。運営する社会福祉法人みやぎ会は、近隣に特別養護老人ホームきたかみも運営しておりますが、さらに、震災からの復興に向けた取り組みとして、同じ北上町に当施設を開設することとなりました。

また、旧石巻市外では初となる津波避難ビルの協定を石巻市と締結しており、市民の安全を守る施設としても期待されています。

新潟県派遣職員紹介

新潟県から派遣された矢坂陽子です。3月まで勤務していた上越保健所のある上越地域は、新潟市から車で2時間ほど南で富山県寄りにあります。豪雪地帯であり、この冬も12月から大雪が降り、平野にあるわが家でも3月下旬にやっと雪が消えたところでした。また、上越市には日本三大夜桜で有名な高田公園があり、お花見の頃は大変賑わいます。

ペットの金魚とともに、1年間石巻で生活します。おいしい名物を食べ、元気に過ごしたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。



【矢坂保健師】

幼児の食育に関する研修会開催

石巻地域は学童期の肥満傾向児の割合が他地域よりも高くなっています。そこで当所では、子どものころから食に触れ、食に親しみを持てる機会を増やしていくことを目指し、幼児を対象とした食育活動の充実に力を入れています。

3月12日に保育所や幼稚園の先生を対象に実施した研修会では、宮城学院女子大学食品栄養学科の平本福子先生を助言者にお招きし、“食が好きで、美味しくいろいろなものが食べられる子を育てる”ための具体的な活動について話し合いました。今後も石巻地域の食育活動がより一層充実されるよう、取組を進めていきます。

フロンの取扱いは適切に

4月1日から地球温暖化防止のため、新しいフロン法が施行されました。保健所では、フロンを使用する業務用機器（エアコン・冷蔵庫・冷凍機）の保有者に点検・報告を義務づけ、フロン類の充填・回収業者に登録を求めるなど、フロン類の適切な管理を指導します。なお、一般のご家庭で保有する機器は、対象とはなりません。ご不明な点は、下記の連絡先までご連絡ください。

【石巻保健所 環境廃棄物班 0225-95-1418】

ひとりで悩まずに こころの相談をしてみませんか

眠れない、気分が落ち込む、お酒がやめられない、家族が引きこもっている…などでお悩みの方に、当所では「こころの相談」を行っています。

まずは、当所保健師にご連絡ください。

※事前予約制（電話：0225-95-1431）

内容	相談日	場所
精神保健福祉相談（移動）	4月30日（木）	当所（県石巻合庁）
	5月20日（水）	牡鹿総合支所
	5月27日（水）	女川町
アルコール関係相談	4月17日（金）	当所（県石巻合庁）
	5月15日（金）	
思春期・引きこもり相談	5月19日（火）	当所（県石巻合庁）

問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所 復興支援情報発信チーム

HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-hc/>

TEL:0225-95-1416(代表) Fax:0225-94-8982